

通信 No. 04

今年度4回の
まとめのご報告です
ぜひご覧ください！

「鷺山中洙まち育て広場」のお知らせと報告です。

鷺山中洙 まち育て 広場

『鷺山中洙まちづくりビジョン』
のまとめ！

ビジョンの実現に向けた 話し合い



最後に、延藤氏がこれからに向けて、今回でた意見をその場でまとめ、ふりかえりました。

- り** 理想に近づくまちづくりビジョンを皆でつくったことに誇りを持つよう！
- ま** 孫や子の世代に幸せな「暮らし」と「基盤づくり」にいたる合意形成へ！
- じ** 地元住民にとって安全安心な子どもが遊べる道づくりを優先的に！
～オランダのボンエルフ※など、自動車と歩行者が共存する道づくりへ～
- は** 花火も金華山や鷺山も見える！自転車 10 分圏内に様々な生活インフラが
整っている鷺山のポテンシャルを積極的にPRしよう！
- は** 発展的に幼老多世代交流コミュニティの施設や、
空き家活用の縁側づくりなど、時代に合わせた整備をすすめよう！
- り** 隣接する魅力ある場を結ぶ道づくりと、
水辺のある防災拠点をまちのランドマークにしよう！
- わ** 私たちが立ち上がらないと実現できないこと、区画整理で実現できることの
「合わせ技」で地域全体の実践計画に取り組もう！
- お** 想いを分かち合う場をもっと広げ、鷺山中洙らしい創造的まちづくりを
実現させるために、みんなで一緒に考える場をつくろう

おなじみ！ 延藤せんせいの
頭韻要約法による
まとめ

今回は
下から
読んで
みよう



→(頭文字を下から読むと…)『**おわりは、はじめり**』です。

今年度の「鷺山中洙まち育て広場」は、今回のビジョンまとめで一区切りです。しかし、鷺山中洙のまちづくりは、ビジョンの実現に向けてこれからが始まりです。新しいまちづくり活動が始まることへの期待を込めて、今年度の結びの言葉とさせていただきます。

※「ボンエルフ」とは、車道を蛇行させるなどして自動車の速度を下げさせ、歩行者との共存を図る生活道路のこと。オランダで始まり、日本ではコミュニティ道路と呼んだりする。

【第4回参加者アンケートより】

- ・大変創造的な話し合いの場だったとともに、次につながる期待感をもちました。
- ・皆が本音の意見をきちんと言えた。
- ・最後は道路が主体に、オシャレな道路を作りたい。
- ・本当に素晴らしい。内容が内向きに偏らずに、地域のポテンシャルや価値を外に向かって伝えていって、地域の評価を更上げていきたい。
- ・ビジョンをまとめる「力」が住民にあると再認識した。
- ・若い人の意見が聞けて良かった。青年グループが欲しい。

みなさまのご意見をお待ちしています

「鷺山中洙まち育て広場」通信 No.04

発行日：2016年3月25日

発行：(仮称)鷺山中洙土地区画整理世話人会

制作：NPO法人 まちの縁側育くみ隊

問合せ：岐阜市都市建設部区画整理課 (TEL:058(214)4689 (直通))

全4回プログラム

まちの未来を考えるための学びと話し合いの場
【場所：鷺山自治公民館】

| | |
|-------------------------|------------------------------------|
| 第1回 | こんなまちに住みたいナ 幻燈会(先進事例のスライド)と話し合い |
| 9月27日(日) 9:30~12:00 | |
| 第2回 | まちのタンケン ・ハッケン・ホットケン |
| 10月25日(日) 9:30~12:00 | みんなでまち歩きで調査 |
| 第3回 | 地域課題を テーマ毎にほりさげよう |
| 12月13日(日) 9:30~12:00 | ※安心な暮らしも、道のことも |
| 第4回 | こんなまちにしたい！ まちのビジョンを描こう |
| 2月7日(日) 9:30~12:00 | まちづくりの目標像を話し合います |

今回はココ！
まとめの回です



●こんなまちにしたい！

まちのビジョン(目標像)を描こう！

この通信では、2016年2月7日に開催した第4回「鷺山中洙まち育て広場」をお伝えします。今年度の最終回となる今回は、これまでの意見を取りまとめて「まちのビジョン(目標像)」について話し合いました。

これまでの意見を整理した「まちづくりビジョン(案)」をもとに、3グループに分かれて議論し、「生活基盤」「コミュニティ」「歴史・景観」の3つのテーマでビジョンをまとめました。そして最後に、ビジョンを実現するにはどう取り組んでいけばいいのか、土地区画整理事業でできること、できないことを考えながら実現方法についても皆で話し合いました。

具体的なビジョンが見えてくると、参加者の皆さんからは、前向きなご意見がたくさんでできました。今年度の全4回の話し合いでまとめた

『鷺山中洙まちづくりビジョン』は
次ページです>>

鷺山中洩まちづくりビジョン

鷺山中洩
まち育て
広場

〈全体の目標〉

さ 幸いは 老いも若きも住みたくなる 育・職(食)・住の「生涯生活空間」づくり

次世代に魅力あるまちを残すため、鷺山のポテンシャル(潜在的なまちの資源)を自覚して若い世代を呼びこみ、安心安全な子育ての場、働く場、食の場、快適な住まいの場として、子どもから高齢者まで多世代が交じり合っ、幸せに暮らす「生涯生活空間」づくりを目指そう。

〈テーマ1：生活基盤について〉>>主に土地区画整理事業で取り組みたい。

ぎ 議論と知恵を重ねて安全安心な歩きたくなる道、 水害に強いインフラ、防災拠点づくり

- 生活道路と幹線道路のメリハリをつけた安全安心な歩きたくなる道づくり(子どももお年寄りも安心して歩ける道と、安全に地区を通過する車両を通す南北交通軸づくり。)
- 水害に強いインフラづくり(昔から大雨で水が溜まりやすい場所は、道路整備に合わせて水捌けの良い排水路整備などで対策をすすめよう。)
- いざというときの防災拠点づくり(水害や地震や火災など災害に備えて地域の助け合いを支える防災拠点づくりをすすめよう。防災機能をもつ公園など。)
- 身近な公園を活かす(身近な公園や広場をつくったり、鷺山公園をもっと活用しやすくして、地域の様々な活動の拠点として活かそう。)

〈テーマ2：コミュニティについて〉>>主に地区の住民で取り組みたい。

や やさしさと楽しさを分かちあう多世代交流の拠点づくり

- 多世代が交流する「まちの拠点」づくり(身近な公園や鷺山こども館などを活用して、子どもからお年寄りまで多世代の居場所となつて、多様な住民が交流する「まちの拠点」づくり。町内の狭間だからこそ皆で集まれる。)
- 空き家・空き地の安全と活用(安全安心な生活環境を維持するため、増える空き家・空き地を住民の居場所や市民農園など積極的に地域で活用しよう。)

〈テーマ3：歴史や景観について〉>>主に鷺山全体で取り組みたい。

ま まちの資源を活かして生活・歴史景観を育もう

- 森田草平庵の界隈で地域の記憶遺産の拠点づくり(森田草平生家や水路、蔵通りなど今も残る地域の歴史文化資源を活かした文化拠点づくり。)
- 蔵などが残り昔の面影を残す「鷺山蔵通り」の景観をまちづくりに活かそう。
- 鷺山らしさのある水路や井戸、堤防跡など水の歴史を記憶遺産として伝えよう。
- 鷺山らしい「のどかな風景」の良さを感じる景観づくり(畑や果樹園、水路や井戸、鷺山や金華山への眺望など、鷺山らしい景観を活かしたまちづくり。)
- 鷺山全体の自然環境や歴史資源、暮らしやすさをもっとまちづくりに活かし、積極的にアピールしていこう。

「鷺山中洩まちづくりビジョン」とは

土地区画整理事業というまちづくりの手段を考える前に、まずは「どんなまちを目指すのか」まちづくりの目標(ビジョン)を地域の住民が集まって話し合い、まとめたものです。

住民の話し合いの場を「まち育て広場」と名づけ、地域の皆さんに呼びかけて4回の話し合いを開催しました。他の地域のまちづくりを学び、一緒に地域を歩いて、残したい「まちの宝」や、何とかしたい「まちの困った」などを話し合いました。

そこでは道路や公園だけでなく、防災、安全、子育て、高齢者福祉、歴史文化など様々な意見がだされ、その中から共通する主だった意見をビジョンとしてまとめました。今後の鷺山中洩地区まちづくりの指針としていきます。

【鷺山中洩まち育て広場】の開催経緯

- 2015年9/27「こんなまちに住みたいナ」幻燈会
- 10/25「まちのタンケン・ハッケン・ホットケン」
- 12/13「地域課題をテーマ毎に掘りさげよう」
- 2016年2/7「こんなまちにしたい!まちのビジョンを描こう」

